

1月号
No.572

ラポール
相互の信頼関係、つながり、関係の意。

大阪労働者福祉協議会

http://www.osakarofukuko.or.jp/



新 年
2013.1.1



▲川口清一会長

振り返ると過ぎ去りし1年は、経済は回復基調に乗らず、民主党などの奮闘もむなしく国会は衆参ねじれの状況から「決められない政治」と揶揄(やゆ)され、尖閣や竹島をめぐっては隣国から筋の通らぬ行動がとられ、わが国を取り巻く環境は一層厳しいものとなっています。われわれの日常生活に目を移しても、月の経過とともに生活保護受給

13年の大阪労福協の取り組みに、今まで以上のご支援・ご協力をお願い申し上

2013年の新しい年を迎え、皆さまにおかれましてはそれぞれの組織、それぞれの家庭で夢と希望の新しい年をお迎えになられたこと、お慶びを申し上げます。大阪労働者福祉協議会も皆さまの深いご理解とご協力により、心新たに新しい年を迎えることができました。

共助の輪をさらに拡大し新しい取り組みにも挑戦

大阪労働者福祉協議会
会長 川口 清一

発行所
一般社団法人・大阪労働者福祉協議会
〒540-0031
中央区北浜東3番14号
電話(6943) 6025番
毎月1日発行 1部20円
発行人 平田茂徳
編集協力・機関紙広報研究センター



▲労金の会員労組、生協、NPO・NGOの代表など430人が熱心に耳を傾けた国際シンポジウム

合年だった。近畿労金は11

月25日に大阪市内で「IL

O国際シンポジウム

ILO本部のホセ・マヌエル・サラサール=シリチナ

する世界の労働の処方箋を探る」を全国労働

金庫協会と共に催で開いた。

ス雇用総局長が、「岐路に立つ世界の労働」をテーマ

に記念公演し、中央労福協

の古賀伸明会長(連合会長)

も加わってシンポジウムも

ILO雇用総局長が講演



▲サラサール ILO雇用総局長が講演

近畿ろうきんが国際シンボル化する世界の労働に処方箋は?

ILO雇用総局長が講演

行われた。労金の会員労組、生協、NPO・NGOの代表など430人が熱心に耳を傾けた。

社会が著しく劣化する中で、「働く仲間の暮らしの支え」と理念とする労働金庫が、これらを克服していくための処方箋を探る」を世界的な視座で捉え直す機会として企画したもの。

サラサール氏からは、若

者の労働環境が劣化して

いる実情が報告され、「世

界中で、労働者3人のうち1人が失業状態か貧困

として企画したもの。

労働市場とマクロ経済

間の負の循環を断ち切り雇用を創出する財政・雇用政

策が必要だと強調した。

おおさか★☆☆

ひとりで悩んでいませんか?

相談内容

相談項目	主な相談内容	相談窓口
労働相談	雇用・賞金・労働時間	連合大阪など
暮らし・生活	生活資金・ローン・多重債務	近畿労働金庫など
福祉・保健	災害保険・介護サービス・子育て	全労済・NPOなど
生きがい趣味	ボランティア・サークル	NPOなど
社会保障	社会保険・年金・雇用	社会保険労務士
税務・法律	税金・相続・確定申告	弁護士・税理士など
冠婚葬祭	式場など	大阪各地域労福協

電話 0800-200-0154 (フリーアクセス)
URL http://www.osaka-lsc.jp/
メール daihyou@osaka-lsc.jp
相談日 月～金 曜日の平日
時間 午前10時～12時
午後1時～4時
相談は無料です
ただし、裁判や実務依頼されるケースの場合は、それぞの取り決め額の支払いいたします。
※ライフサポートセンター大阪中央には、毎週木曜日、社会保険労務士が常駐しています。
ライフサポートセンター 地域センター 大阪中央・北大阪・北河内・河内・大阪南
構成団体 (社)大阪労働者福祉協議会/連合大阪/近畿労働金庫大阪地区統括本部/全労済大阪府本部/大阪府社会保険労務士会



